

「新筐体だ。上血中央に配された「ラッキースピ」はプッシュ



©2011 Daiichi. All Rights Reserved. Pachinko Under License to Sega Amusement Inc.

Daiichi が年明け第一弾として発表する新機種「CRタイタニックザ・パチンコ」で、新筐体「Dラグジュ」が採用されている。光輝くフルカラーLEDを散りばめた

ゴージャスなデザインで、名前のとおりラグジュアリーな雰囲気をかもし出す新筐体だ。

ユボタンとジョグダイヤルが融合した新感覚のゲーム性を実現。「タイタニック」では、ラッキースピンが光り、回転している間にプッシュボタンを押すとプレイヤーの押す

Daiichi 新筐体「Dラグジュ」登場

ジョグダイヤル型「ラッキースピン」搭載

Daiichi
CRタイタニックザ・パチンコ
 型番 大一新発
 導入予定日 2月7日

わかりやすいゲーム性のミドルでタイタニックの感動シーンが蘇る

レオナルド・ディカプリオとケイト・ウィンスレット主演で世界中を感動の渦に巻き込んだ映画「タイタニック」が遂にパチンコに。最高の感動が新筐体「Dラグジュ」で再現される。

リーチ発展時に船首で手を広げるローズをジャックが後ろから支える名シーンのカットインや、船首役物が上昇して名シーンリーチに発展すれば50%オーバーの期待度など、アツくてわかりやすいゲーム性を実現。てんとう虫柄と白キャラ出現で激アツなど、実写とアニメが融合したドキドキ感も随所で楽しめる。

8ゲームごとにモード演出が発生するパニックモードでは、ミッション成功で次のモードへ。シーン4をクリアすればスーパーパニックモードに突入して期待度は最高潮に。新筐体のラッキースピンが回転すればボタンプッシュでDaiichiの一発告知音が祝福。大量収録した感動シーンとともに、あの名曲に酔いしれたい。

RSN/前年同月比で相談件数は増加

パチンコ依存問題の相談機関、リカバリーサポート・ネットワーク(RNS)によると、2010年11月の相談件数は87件だった。毎年冬場は相談件数が減少する傾向にあり、今年も初めて90件を割ったが、前年同月比では8件増加している。コーラー（電話をかけてきた人）の年齢をみると、前月と比べて40代本人(今月9件、前月18件)と、30代家族・友人(今月2件、前月7件)の減少が目立った。

日本ゲームカード/企業キャラクター名決定

日本ゲームカードは12月22日、9月から11月まで公募を行っていた企業キャラクター名が決定したと発表。おにいさんは「パッキーくん」、おねえさんは「パニーちゃん」、おじさんは「カードン男爵」に決まった。



岡山県遊協/年末寄付金を贈呈

岡山県遊技業協同組合は昨年12月13日、社会福祉や青少年健全育成活動の一環として、岡山県内に本社のある報道機関に年末寄付金として200万円を贈呈した。内訳は次の通り。山陽新聞・50万円。テレビ瀬戸内・25万円。山陽放送・50万円。岡山日日新聞25万円。岡山放送・50万円。

その結果、営業利益は7億6500万円(同157.6%)、経常利益は7億1000万円(同177.6%)となった。

2011年3月期第2四半期の業績 (2010年4月1日~2010年9月30日)

※連結

	売上高		営業利益		経常利益		税金等調整前四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2011年3月期第2四半期	60,258	96.2	765	157.6	710	177.6	635	109.5
2010年3月期第2四半期	62,609	107.2	485	168.1	400	229.7	580	363.8

※記号金額の百万円未満は切り捨て ※%表示は対前年同四半期増減率

高敏感あふれる「Dラグジュ」が、タイタニックの色あせない感動の名シーンを盛り上げてくれる。

貯玉/貯メダル/再プレー
楽しむための安心・安全

当店は、貯玉補償基金加盟店です。
 満額以上に上乗せもできます。
 2011 株式会社法人貯玉補償基金
 http://www.chodama.or.jp/

貯玉補償基金 加盟店告知。ホスター作成

ホームページ用バナーも刷新

貯玉補償基金がファンに貯玉補償基金の加盟店であることを告知する加盟ホル向けホスターの2011年版を作成した。これに併せて、ホームページ用の「貯玉補償基金バナー」についても、従来バナーを2011年版に変更し、新たにホール名が入られるようになった。

ホスターやバナーの利便に関する問い合わせは

TEL 03-5881-8737
 www.chodama.or.jp

新たに製作されたホスター(左)とバナー(下)。バナーにはホール名が入られるようになっている。

ピーアークホールディングス中間決算 機械代圧縮で増益

ピーアークホールディングス中間決算
 ピーアークホールディングスが2011年3月期の中間決算を発表した。売上高は602億5800万円(前年同期比96.2%)となったものの、売上総利益は21億3400万円(同123.4%)と大幅に伸び、減収増益となった。

パチンコ部門の売上高は前年同期比で91.1%減となり、おり、ファンへの来店頻度減少や、4円貸しから1円パチンコなどの低玉貸し営業へファンがシフトしたことを要因として挙げている。一方、パチスロ部門の売上高は同118.8%と大幅に伸びている。売上総利益の増加は、遊技機の導入サイクルの見直しや中古機の有効利用で遊技機コストが圧縮したためだ。

なお、「マックスパチンコ豊田」の閉店による特別損失などにより、税金等調整前四半期純利益は6億3500万円(同109.5%)となっている。